

カノンの 向こう側へ

大内 暢仁

バッヘルベルの知られざる傑作
~アポロンの六弦琴・全曲ピアノによる演奏~

バッヘルベル没後320年に寄せて



Program

ブクステフーデ：

プレリュード ト短調 BuxWV148

ブットシュテット：

プレリュードとカプリッチョ

バッヘルベル：

アポロンの六弦琴

その他

Piano Café Casa Blanca



東京都世田谷区粕谷3-10-5



料金：ミュージックチャージ 3,000 円

+ テーブルチャージ 600 円

+ 1ドリンクオーダー以上

2026 12.27 日

開場 12:45 開演 13:30

ご予約・お問い合わせ

piano.casablanca@gmail.com

nobuxtehude@gmail.com



メールにてお申し込みください。



～コンサート概要～

「パッヘルベルのカノン」として老若男女問わず知られているパッヘルベル。

しかし、カノン以外の曲はほとんど知られていないのが実状です。

「アポロンの六弦琴」は本来オルガンまたはチェンバロのために書かれた曲ですが、ピアノで全曲演奏しようと思い立ちました。出版にあたりパッヘルベル自身が書いた序文やカバラの解説を交えながら演奏したいと思います。

～プロフィール～



大内 暢仁 (おおうち のぶひと)

東京音楽大学ピアノ科卒業、同大学院科目等履修生修了。
クラヴィコード、チェンバロ、バロックダンスを丸山雅美氏に師事、故丸山桂介氏のもとでルネサンス・バロック時代の音楽史を専門的に学ぶ。バロック音楽の精神性を当時の哲学や科学、ゲマトリア（数秘術）など様々な観点から研究し、それらを基に根拠のある古楽をモダンピアノで奏でることをライフワークとしている。主としてブクステフーデの研究に取り組む。
ピアノをこれまでに故佐竹宏子、広瀬宣行、村上隆の各氏に師事。音楽ユニットResonanCeメンバーとしても活動。
チェンバロやクラヴィコード、オルガンのための作品を現代のモダンピアノで録音した意欲的アルバム「Rebirth」でCDデビュー。

～アクセス～

Piano Café Casa Blanca

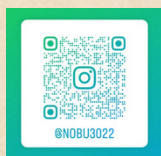
歩行者の場合

京王線千歳烏山駅から、はっけん通りを南へ徒歩約15分。榎交差点北側角地。

バスの場合

- ・京王線千歳烏山駅から、成城学園前駅行きに乗車。約5分。
「榎（えのき）バス停」下車1分
（千歳烏山駅のバス停は、西口改札口を出て、南側の階段を上がって、約100m。スーパーライフ横を通り過ぎたところにあります）
- ・小田急線成城学園前駅から、千歳烏山駅行き又は、千歳船橋駅に乗車。約10分。
榎（えのき）バス停下車1分
成城学園前駅西口で乗り場5から「榎（えのき）バス停」に停車することを確認してバスにご乗車ください。

出演者SNS



Instagram



X



HP

